

## 夏を整理する

茗溪塾塾長 長谷 誠基

記録的な猛暑が襲った今年の夏、塾では例年にない形の夏期講習が行われました。短いところでは2週間しか夏休みがない状況の中でしたが、必要なカリキュラムをやりきることができました。ご協力本当にありがとうございました。また、夏期合宿の代わりにお盆特訓を行いました。通い型の集中学習でしたが、最終日のアンケートでは「学習の参考になった」や「参加して良かった」にほとんどの人が○をつけてくれました。1つ1つの行事に積極的に取り組んでくれる様子を見て、この特訓を実施できてよかったと思いました。ご参加いただいた方々に感謝いたします。

さて、夏のカリキュラムが終了し9月が始まると、模擬試験・志望校別特訓・過去問演習等、入試に向けての勉強が本格化してきます。先日行われた親子説明会でもお話ししましたが、これからの勉強は1つ1つの問題を自力で解けるようにすることが重要です。今まで学習してきた知識や考え方を問題に合わせてアウトプットできるかの練習を行うわけです。しかし、夏にやったことが全て身についているわけではないことも事実です。そこで、夏に学習したことを振り返り、定着させていく勉強も並行して行うことが必要になります。しかし、やるべきことはとてもたくさんあるので、どこでやるのか？が大きな問題になります。それを解決するためには、この9月に1週間の学習スケジュールを立てる必要があります。その学習スケジュールには家庭、または塾で何をやるのかを具体的に書き込んでください。そして、時間のとれる土曜日か日曜日に夏の振り返りをする時間を短時間でいいので取るようにしましょう。そこでは自分が一番上げなければいけない教科の夏にやったものをやり直します。単語や熟語、漢字や文法のテストで間違えたところを覚え直したり、算数や数学の小テストで間違えた問題だけやり直したり、理科・社会のまとめの部分を声に出して読み返したりするだけでも効果があります。これら夏期の内容は近い時期に一度やった事なので思い出すのも早いでしょうから、新しい教材で弱点補強をするよりもずっと効率的です。2学期スタートのこの時期に学習スケジュールを作り、それを続けていくことが力を上げるのにとても役立ちます。夏を整理する学習を普段の勉強の中に取り入れて、目標に向かって新たにスタートを切りましょう！